

# 山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620  
Yamanashi Chuo Rotary Club 2015-2016

事務所

〒409-3812

山梨県中央市乙黒 158-2 (山梨ビジネスパーク (株)カルク内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>

FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)



世界への  
プレゼントになろう

## Weekly Report

会 長 樋貝 浩久

副会長 石原 満彦

幹 事 田中 雅承

副幹事 小池 章治

会 計 田中 雅貴

会 報 石原 満彦

2015~2016 RI 会長  
K.R. "ラビ"ラビンドラン

【例会日】  
毎週金曜日 12:30 ~ 13:30

第 2620 地区 ガバナー  
野口 英一

【例会場】  
(株)カルク (055-273-5344)

2016 年 3 月 9 日 第 1714 回例会

### 本日のプログラム

南アルプスRC 合同例会 於・「魚覚」

### 会長挨拶

「花粉症は「日本だけ」」

会長 樋貝 浩久

これからのシーズン、花粉症持ちの人間にはつらい季節です。早いところだと2月上旬から飛散をはじめるといわれるスギ花粉に戦々恐々としている方も多いですが、花粉症は「日本だけ」という噂を耳にしたので、調べてみました。

結論から言えば、花粉症は世界各地に存在する。欧米でも枯草熱(こそうねつ。hay fever)という用語があるほどです。ただし、日本で2~3月に起こる劇症的(げきしょうてき)なスギ花粉症は、まず存在しないといえます。

スギの学術名は「クリプトメリアヤポニカ」です。ヤポニカは日本を意味するラテン語です。スギは日本固有の植物で、分布域は、青森から屋久島まで日本列島に広く分布していますが、北海道と沖縄にはスギ林が少なく、花粉症のひどい症状が出ることはありません。

スギは、古来より建築資材として重用され、植林は江戸時代から行われていましたが、戦後に、焼け野原となった都市を再建するために多くの木材が必要となり、国策として拡大造林

計画が推進され、各地にスギが植えられました。現在、日本の森林のうち40%ほどが人工林であるが、そのうち43%がスギ林となっています。それほど需要のある木材でしだが、大量にスギが植えられているのに花粉症が存在しなかったのはなぜかという、実は、スギ花粉というのは、樹齢30年ごろから飛散を始めるのです。戦後に植えられたスギが切り取られる時期、日本は高度経済成長期となっていました。建築技法の変化や安い海外産の木材の流入により、国産スギの価格が下落したため、需要がないとして切り取られず放置されたスギ林が増え、樹齢30年を超えたスギが花粉を飛散させるようになったようです。

スギ花粉が初めて確認されたのは1964(昭和39)年の東京オリンピックの年に栃木県日光市だそうです。

スギ花粉は樹齢50年ごろまで飛び続けると言われ、専門家の分析によれば、西暦2030~50年頃までは、スギ花粉の大量飛散は続くようです。

花粉症の原因となるアレルゲンは、春はスギのほかヒノキ、シラカンバ、春から秋にかけてはホソムギ、ナガハグサなどイネ科の植物、秋にはブタクサ、ヨモギ、カナムグラなど数多く存在するので、場合によっては1年中花粉症状態という人もいます。

これらの植物は海外にも存在しますが、お隣の韓国や台湾にもスギ花粉症は存在しないので、症状が辛いひとは数日間でもショートトリップの“花粉避難”を試してみてもいいかがでしょうか。

**幹事報告** **幹事 田中 雅承**

1. 第2620地区野口ガバナーより、ロータリー財団カードへのご理解を改めてお願いをしたいとの事です。

内容を回覧致しましたのでご理解ご協力をお願いします。

2. 「第27回ふるさとを描く子ども絵画展」巡回展について、「山梨中央銀行本店ロビー」からの撤去作業と、「山梨中央銀行医大前支店」への展示作業にご協力頂き、有難うございました。

3. 3月9日(水)はご承知の通り、南アルプスロータリークラブとの合同例会です。全員の出席を予定しておりますが、余儀なく欠席をする方は、山本事務局員に連絡をして下さい。

点 鐘：午後12時30分

会 場：「ブライダルホール魚覚」  
尚、3月11日(金)の例会は振替休会と成りますので、お間違えのない様にお願ひ致します。

4. ロータリーの友事務局より「ロータリーの友3月号」と、野口ガバナー事務所より「ガバナー月信No.9」が届いておりますので、配布致しました。

5. 例会変更のお知らせ

☆甲府南ロータリークラブ☆

3月29日(火)は「特別休会」

**前回の例会記録**

**第1712回 出席報告**

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	8名	3名	70%	2名	100%

**届出欠席者** 樋貝 浩久君 竹野 満君  
小池 章治君

**届出失念者** なし

**出席免除者** なし  
**メイクアップ** 樋貝 浩久君 田中 雅承君  
**ビジター** なし  
**備考** なし

**ニコニコ BOX**

- いいお天気ですね。 原田 哲
- 早退します。 田中 雅貴  
石原 満彦

**★ 米山奨学生卓話 ★**

**「地球住民 ( Earthlings )」 (4)**

**米山奨学生 駱 予倩さん**

※動物の苦しむ様子などの描写があるので、苦手な方は控えてください。

最後は、科学実験に使われる動物たちです。それは、人間の病気の治療法を見つけるためだと言われます。そして、動物で得られる実験結果が、そのまま人間にも適用できるという考えのもと、実験動物には病気の状態が故意に作り出されます。動物実験では、動物に毒物を与えたり、電気ショックを与えたり、無麻酔で手術をしたり、外傷を負わせたりします。軍事目的の研究の場合は、放射能を当てられたり、爆弾を試したりもします。映像では、自動車の衝突事故を再現し、その脳へのダメージを研究するため同じヒヒに繰り返し、衝撃を与えられています。20年前、動物実験で殺される動物の数は世界で一日当たり40万匹でした。その数は年間5%の割合で増加し、現在では1分間に1万9千匹、一年にして100億匹と推定されています。

見ている間、何度も目をそむけてしまいました。でも、これが現実起こっていることなのでしょう。彼らは一番身近なペットとして、普段食べる食肉として、身にまとう衣服として、私たちを楽しませてくれる娯楽として、病気になったときには薬として、ありとあらゆるところで私たちの生活を支えています。しかし、彼らの犠牲が考えることも感謝されることもありません。(続く)

**次回のプログラム 3月18日(金)**

**会員卓話 田中 雅貴会員**